

平成28年度杉並区事務事業評価表(1)

(00240)

事務事業名称 青少年育成			款 04	項 02	目 01	事業 004	整理番号 249				
現担当課名 児童青少年課		係名 青少年係		連絡先電話番号 4402		昨年度整理番号 249					
上位施策No・施策名 24 子ども・青少年の育成支援の充実						予算事業区分 既定事業					
事務事業の概要	事業開始	昭和29年度									
	平成27年度担当課名	児童青少年課		事業評価区分 一般							
	対象	区内在住・在学・在勤の25歳未満の青少年、地域の青少年健全育成団体		根拠法令等 (1) (2)	杉並区青少年育成委員会補助金交付要綱 杉並区青少年善行表彰要綱						
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	青少年育成委員会などの地域の青少年健全育成の活動を助成し、これらの団体が行う事業活動を通して子どもたちが健やかに育つ環境を整える。 善い行いをした青少年及び主にそれらで構成された団体を表彰して区内全体に善意の行為の気運を盛り上げる。		活動指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2)	青少年健全育成団体の総事業数 青少年表彰被表彰件数						
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	青少年健全育成団体に対し補助金または事業共催分担当金を支出する。 非行防止啓発イベントを実施する。 すぎなみ舞祭を開催する。 善い行いをした青少年を表彰する。		成果指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2) 指標説明	青少年育成委員会実施事業参加者数 平成27年度から成人を除く小中高校の児童生徒数等子どもの参加人数だけを算定 区内犯罪・触法少年の検挙・補導件数 目標数値を下回るほど成果があがっているため、達成率が低ければ低いほど評価が高い。						
区分		単位	平成25年度	平成26年度		平成27年度		平成28年度	平成27年度		
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)		
指標	活動指標(1)	1	件	402	400	473	450	436	450	96.9	
	活動指標(2)	2	件	169	170	186	190	182	190	95.8	
	成果指標(1)	3	人	98,837	100,000	93,648	100,000	72,324	100,000	72.3	
	成果指標(2)	4	件	176	180	149	160	119	130	74.4	
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	19,358	20,054	19,978	20,675	20,371	19,471	平成27年度 予算執行率(%) 98.5	
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項	
	(内)委託費	7	千円	707	760	731	787	629	328		
	職員数	常勤職員数	8	人	2.19	1.60	2.33	1.50	1.70	1.50	
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50	0.50	
	人件費	常勤職員分	11	千円	18,900	14,096	20,527	13,215	14,870	13,121	
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0	0	
		非常勤職員分	13	千円	0	0	0	0	1,468	1,468	
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	38,258	34,150	40,505	33,890	36,709	34,060		
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15	円	95,169	85,375	85,634	75,311	84,195	75,689		
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0	0	
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0	
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0	
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	0	0	0		
差引:一般財源(14-20)		21	千円	38,258	34,150	40,505	33,890	36,709	34,060		
受益者負担比率(16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

平成28年度杉並区事務事業評価表（2）

整理番号 249

平成27年度の事業実施状況	内容	規模	単位	事業費（千円）
	(1) 主な取組	青少年善行表彰の表彰状授与及び記念品の贈呈	181	件
青少年育成委員会活動補助金の支出		17	件	17,000
すぎなみ舞祭実行委員会、ボーイスカウト等事業共催分担金の支出		4	件	2,070
非行防止啓発イベントの実施		1	回	665
その他（事業周知用チラシ作成費、郵送料ほか）				50
(2) 事業実績	<p>青少年善行表彰では、地域の団体に当該制度の趣旨が理解され、推薦されたことで、多くの青少年を表彰することができました。青少年育成に寄与する団体の取り組みは、地域や対象者の特性や要望に応えた内容に工夫することで、多くの子どもたちの参加を促進することができました。</p>			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>学校・地域におけるボランティア活動等、青少年の豊かな人間性、社会性を養うために必要であるとの認識が高まっています。一方で、中高校生の生活環境の変化に伴い、情報提供の方法や育成方法が変化しています。</p>
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>地域のつながりが希薄化する中、多くの地域団体が関わる育成団体が中心となって、子どもたちの健やかな成長を支えていく体制を築くことが求められています。</p>
	今後の予測	<p>地域における交流が希薄になっている現代社会において、青少年育成団体の取組がますます重要になっていくものと考えられます。</p>
	評価と課題	<p>長年にわたる育成団体の取組は、地域社会の中で一定の成果を挙げてきた一方、取組内容や組織人員が固定化する傾向もあり、必要な改善を図ることが課題です。</p>

中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	<p>I 事業コストの方向性</p> <p>II 事業の改善の方向性</p>	<p>現状維持</p> <p>手段・方法の見直し（改善）</p>
	今後の進め方	<p>青少年育成団体の事業内容や対象が地域の実情に見合ったものに転換できるよう支援するとともに、団体に対する助成金や分担金がより効果的に活用されるように団体への助成・支援の方法について見直しを図っていきます。</p>	

平成28年度杉並区事務事業評価表（１）

（ 00241 ）

事務事業名称 青少年の自立応援・社会参加事業			款 04	項 02	目 01	事業 005	整理番号 250				
現担当課名 児童青少年課		係名 青少年係	連絡先電話番号 4402		昨年度整理番号 250						
上位施策No・施策名 24 子ども・青少年の育成支援の充実						予算事業区分	既定事業				
事務事業の概要	事業開始	昭和25年度									
	平成27年度担当課名	児童青少年課		事業評価区分		一般					
	対象	区内在住・在学・在勤の25歳未満の青少年		根拠法令等	(1)	成人祝賀のつどい実施要綱					
					(2)	ユースプロジェクトすぎなみ設置要綱					
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	年齢期から就労に至るまでの青少年が、社会を構成する主体としての自覚を持った成人に成長することを目指す。		活動指標	指標名（ 1 ）	成人祝賀のつどい出席者数					
				指標説明	自立支援・社会参画事業実施回数						
				指標名（ 2 ）							
				指標説明							
活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	年齢期の青少年を対象に、区政への参画や地域情報収集のための取材活動など、体験活動の場や機会を様々な方法で提供する。 区内高等学校に在学する高校2年生を対象として、将来の夢や仕事に関する意識調査を実施する。		成果指標	指標名（ 1 ）	自立支援・社会参画事業参加人数						
				指標説明	各実施事業の参加延べ人数						
				指標名（ 2 ）	区内高校2年生に対するアンケートの回収率						
				指標説明	協力校数÷区内高等学校数						
区分		単位	平成25年度	平成26年度		平成27年度		平成28年度	平成27年度		
			実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)		
指標	活動指標（ 1 ）	1 人	2,169	2,200	2,338	2,200	2,135	2,200	97.0		
	活動指標（ 2 ）	2 回	68	100	121	100	137	100	137.0		
	成果指標（ 1 ）	3 人	6,322	6,000	6,335	5,000	5,637	6,000	112.7		
	成果指標（ 2 ）	4 %	84.2	95	68.4	90	84.2	90	93.6		
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	12,110	11,796	10,885	9,962	9,585	9,852	平成27年度 予算執行率(%)	96.2	
	(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項		
	(内) 委託費	7 千円	9,331	8,119	8,091	7,154	7,025	7,413	広報誌のウェブへの移行、成人祝賀の集い会場附帯設備使用料減により、事業費が減少しました。		
	職員数	常勤職員数	8 人	2.48	2.00	1.76	1.50	1.70	1.50		
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
		非常勤職員数	10 人	1.00	1.00	0.00	0.00	1.40	1.40		
	人件費	常勤職員分	11 千円	21,402	17,620	15,506	13,215	14,870	13,121		
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0	0		
		非常勤職員分	13 千円	2,780	2,830	0	0	4,109	4,109		
	総事業費 (5+11+12+13)	14 千円	36,292	32,246	26,391	23,177	28,564	27,082			
	単位当たりコスト (14-6)÷1	15 円	16,732	14,657	11,288	10,535	13,379	12,310			
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0	0		
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
		都からの補助金等	18 千円	0	0	0	0	0	0		
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0			
特定財源計 (16+17+18+19)		20 千円	0	0	0	0	0	0			
差引：一般財源 (14-20)		21 千円	36,292	32,246	26,391	23,177	28,564	27,082			
受益者負担比率 (16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				

平成28年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	250
平成27年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		成人祝賀のつどいの実施	1	日	7,831
		ユースプロジェクトすぎなみの運営	37	回	1,267
		青少年ボランティア体験事業の実施	1	回	131
		区内高校2年生に対するアンケートの実施	16	校	38
		その他（自立応援・社会参加事業に係る消耗品の購入及び郵送料）			318
	(2) 事業実績	成人祝賀のつどいでは、1日2回の式典実施とすぎなみ公会堂全館を活用した交流時間を設けたことで、来場した新成人同士の旧交を温めることができました。ネット社会に適応している中高校生に対する情報発信ツールとして開設した、青少年情報サイト「セドル」のコンテンツ編集について、ユースプロジェクトすぎなみの活動を通して展開したことにより、対象世代に有益な情報提供を行うことができました。			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	不透明な経済状況の中で、若者の多くは就労に対する不安を抱えています。また、選挙権の年齢引き下げに向けた法案成立など、若者層に対する社会的責任や期待が大きくなっています。			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	就労に関して不安に感じる意識の変化は、自立や社会参加の遅れを招き、ニートやひきこもりにもつながっていく恐れがあります。成人すると同時に一社会人として自立していけるように、就学期のうちから、将来の目標を持てるような取組みの展開が求められています。			
	今後の予測	高齢化する地域社会において、中高校生をはじめとする若者の活躍を期待する声は年々高まっています。これらを地域の若者に的確に伝えとともに、若者が自ら地域社会に貢献する意識を醸成できるような取組みが求められていくものと考えられます。			
	評価と課題	主に中高校生を対象とした地域情報サイトの運営は、当該世代が必要とする有益な情報をタイムリーに提供できるツールとして機能しています。今後は、情報収集後により実際の行動につながる仕組みづくりが課題となります。			
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	拡充		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
	今後の進め方	次代を担う若者の生活実態等を的確にとらえるため、定期的に世代別の実態調査を実施し、現代社会の若者が健やかに成長できる取組みに活かしていきます。また、地域社会における若者への期待等を当該世代へ伝えていき、子ども・若者自らが地域の取組みに関心を持ち、地域の一員として社会参加していけるような仕組みをつくっていきます。			

平成28年度杉並区事務事業評価表(1)

(00270)

事務事業名称		学童クラブ事業			款	04	項	02	目	01	事業	034	整理番号	277	
現担当課名		児童青少年課			係名		管理係		連絡先電話番号		4402		昨年度整理番号	279	
上位施策No・施策名										24 子ども・青少年の育成支援の充実		予算事業区分		既定事業	
事務事業の概要	事業開始	昭和39年度													
	平成27年度担当課名	児童青少年課			事業評価区分 一般										
	対象	保護者が就労等で昼間留守家庭となる区内在住・在学の小学生			根拠法令等	(1)	児童福祉法第六条の三第2項								
						(2)	杉並区児童青少年センター及び児童館条例、同施行規則								
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	家庭、学校、地域等との連携の下、発達段階に応じた主体的な遊びや生活が可能となるよう、児童の自主性、社会性及び創造性の向上、基本的な生活習慣の確立等を図るなど、児童の健全育成支援を目的とする。			活動指標	指標名(1)	学童クラブ数								
					指標説明										
					指標名(2)										
					指標説明										
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	児童一人ひとりが尊重され、安心して安全に、楽しく過ごせる放課後等の集団生活の場を提供する。 児童の受入時間 平日 下校時から午後6時まで(延長利用は午後6時30分まで、学校休校日は午前8時30分から受入) 土曜日 午前8時30分から午後5時まで 休業日 日曜、休日、年末年始			成果指標	指標名(1)	入会児童数									
					指標説明	4月時点の入会児童数									
					指標名(2)	待機児童数									
					指標説明	翌年4月時点の待機児童数									
区分		単位	平成25年度	平成26年度		平成27年度		平成28年度	平成27年度						
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)						
指標	活動指標(1)	1 箇所	49	50	50	50	50	49	100.0						
	活動指標(2)	2													
	成果指標(1)	3 人	3,331	3,618	3,621	3,738	3,813	3,864	102.0						
	成果指標(2)	4 人	49	0	87	0	84	0	0.0						
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	252,801	293,003	287,791	303,559	298,654	361,062	平成27年度 予算執行率(%)	98.4					
	(内)投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	(内)委託費	7 千円	223,083	258,224	256,811	268,319	266,638	324,990							
	職員数	常勤職員数	8 人	80.60	76.20	80.20	76.50	86.50	75.60						
		再任用職員数	9 人	1.00	1.00	1.00	2.40	2.40	3.60						
		非常勤職員数	10 人	2.00	2.00	2.00	2.00	3.60	2.80						
	人件費	常勤職員分	11 千円	695,578	671,322	706,562	673,965	756,616	661,273						
		再任用職員分	12 千円	3,860	4,050	4,050	9,720	9,934	14,900						
		非常勤職員分	13 千円	5,560	5,660	5,660	5,660	10,566	8,218						
	総事業費(5+11+12+13)	14 千円	957,799	974,035	1,004,063	992,904	1,075,770	1,045,453							
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15 円	19,546,918	19,480,700	20,081,260	19,858,080	21,515,400	21,335,776							
	財源	受益者負担分	16 千円	100,370	110,230	112,000	152,952	153,342	159,195						
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	151,434	96,145						
		都からの補助金等	18 千円	6,538	6,593	7,675	7,666	4,086	8,182						
		その他の補助金等	19 千円	0	0	0	0	0	0						
特定財源計(16+17+18+19)		20 千円	106,908	116,823	119,675	160,618	308,862	263,522							
差引:一般財源(14-20)		21 千円	850,891	857,212	884,388	832,286	766,908	781,931							
受益者負担比率(16÷14)	22 %	10.5	11.3	11.2	15.4	14.3	15.2								

平成28年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	277	
平成27年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費(千円)
		学童クラブ委託		11	所	260,760
		民間学童クラブ運営費助成		2	所	17,579
		おやつ代助成		800	人	13,991
	その他(事務費ほか)					6,324
(2) 事業実績	区立学童クラブ(区直営39クラブ、委託11クラブ)の運営のほか、民間学童クラブへの運営費補助や学童クラブを利用している就学援助受給世帯等へのおやつ代助成を実施しました。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	女性の社会進出や核家族化の進行等、社会状況の変化等を背景に、近年、学童クラブ需要は増加しています。入会児童数は、この10年間で約1.5倍となり、約1,200人増加しています。				
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	学童クラブの行き帰りの安全面などから、小学校内への学童クラブ移設を求める声や、夏休み等の長期学校休業日受入時間延長等の利用時間変更を求める声などが寄せられています。				
	今後の予測	学童クラブの対象となる児童数は、中長期的には減少傾向に転ずるものと推計されていますが、当面は保育需要に連動する形で、学童クラブ需要も増加していくことが予測されます。				
評価と課題	学童クラブ需要に応えるため、小学校内への移設や既設学童クラブの改修等を計画的に進め、申請数を上回る受入数を確保してきました。一方、学童クラブは児童の自力通所であるため、広域的な利用調整が難しいことから、現在も局所的に待機児童が発生しています。					
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	拡充			
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)・対象の見直し			
今後の進め方	中長期的には、児童数が減少する見込みも踏まえ、校舎改築との整合を図りながら、今後も段階的に小学校内への移設を進めます。それまでの当面の需要対策として、既存の学童クラブの受入数を拡大するとともに、児童館の一般利用の促進や放課後等居場所事業の拡充をあわせて進めます。					

平成28年度杉並区事務事業評価表（1）

（00271）

事務事業名称		児童健全育成事業				款	04	項	02	目	01	事業	035	整理番号	278
現担当課名		児童青少年課				係名	児童館運営係 事業係				連絡先電話番号	4402	昨年度整理番号	280	
上位施策No・施策名											24 子ども・青少年の育成支援の充実		予算事業区分	既定事業	
事務事業の概要	事業開始	昭和41年度	実行計画事業 目標 05 施策 24 計画事業 03				主要事業（区政経営報告書掲載事業）								
	平成27年度担当課名	児童青少年課				事業評価区分 一般									
	対象	18歳未満の児童及び保護者、児童の健全育成支援の活動を行う団体・個人等				根拠法令等	(1)	児童福祉法第35、40条							
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	児童青少年センター及び児童館における事業の充実を図り、児童の自主性、社会性、創造性等を培い、その健やかな成長を支援する。				活動指標	指標名（1）	センター及び児童館数							
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	児童館の自由利用のほか、定例活動（工作、調理等）や、特別行事（スポーツ大会・遠足・講演会・祭り・キャンプ等）等の実施 児童青少年センターの自由利用のほか、各種事業（職員企画、中高校生企画、中高校生運営委員会企画事業等）の実施 放課後等居場所事業のモデル実施				指標名（2）	年間延べ利用者数（センター及び児童館）								
区分		単位	平成25年度	平成26年度		平成27年度		平成28年度	平成27年度	対計画比(%)					
			実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画							
指標	活動指標（1）	1 館	42	42	42	42	42	42	100.0						
	活動指標（2）	2													
	成果指標（1）	3 人	1,406,605	1,400,000	1,462,950	1,500,000	1,587,603	1,600,000	105.8						
	成果指標（2）	4													
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	25,664	28,011	26,841	400,202	361,564	403,623	平成27年度 予算執行率(%)	90.3					
	(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	(内) 委託費	7 千円	1,022	1,197	909	7,541	6,606	7,450	平成27年度から「児童青少年センター児童館の運営」、「児童館地域子育て推進」、「児童健全育成事業」を統合しました。						
	職員数	常勤職員数	8 人	91.50	86.00	90.20	112.00	114.50	111.00						
		再任用職員数	9 人	2.00	2.00	2.00	4.80	4.80	7.20						
		非常勤職員数	10 人	68.50	68.50	68.50	89.10	89.20	96.20						
	人件費	常勤職員分	11 千円	789,645	757,660	794,662	986,720	1,001,532	970,917						
		再任用職員分	12 千円	7,720	8,100	8,100	19,440	19,867	29,801						
		非常勤職員分	13 千円	190,430	193,855	193,855	252,153	261,802	282,347						
	総事業費 (5+11+12+13)	14 千円	1,013,459	987,626	1,023,458	1,658,515	1,644,765	1,686,688							
	単位当たりコスト (14-6)÷1	15 円	24,129,976	23,514,905	24,368,048	39,488,452	39,161,071	40,159,238							
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0	0						
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等	18 千円	0	0	0	0	0	0						
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計 (16+17+18+19)		20 千円	0	0	0	0	0	0							
差引：一般財源 (14-20)		21 千円	1,013,459	987,626	1,023,458	1,658,515	1,644,765	1,686,688							
受益者負担比率 (16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

平成28年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	278
平成27年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内容	規模	単位	事業費(千円)
		児童青少年センター事業	1	館	3,933
		児童館事業	41	館	20,790
		非常勤職員報酬・賃金の支払			298,788
		放課後等居場所事業	4	校	2,576
		その他(管理運営費、児童館中高生事業等)			35,477
(2) 事業実績	<p>児童館では館内外での活動に加え、地域団体との連携事業など多彩な活動を展開し、遊びを通して子どもの成長を支援しました。児童青少年センターでは、利用者の意見を踏まえた事業運営を行うなど、より利用しやすい中高生の居場所となるよう努めました。</p> <p>小学生の新たな居場所としての放課後等居場所事業のモデルとなる取組を実施しました。</p>				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>児童館は昭和40年代から設置され、地域の児童健全育成と子育て支援の拠点として様々な事業を実施しています。現在では区内に42館が設置されていますが、中でも児童青少年センターは全国に先駆け設置された中高生向けの大型児童センターとして事業を展開しています。</p> <p>近年、乳幼児親子の利用が増加しているほか、学童クラブ需要の増大等、利用状況が大きく変化しています。限られたスペースの中で、幅広い年齢層のニーズを満たす事業・サービスを展開していくことが難しくなっています。</p> <p>平成27年度から、小学生の子どもたちが安全に過ごせる新たな居場所として、小学校施設を活用する放課後等居場所事業のモデル実施を開始しました。</p>			
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>乳幼児の利用にあたって、小学生以上の児童との混在は安全に不安がある、午後の時間帯や夏休み等は小学生の利用が多く実質的に利用できないなどの声が寄せられています。</p> <p>同様に、中高生にとっても児童館は利用しづらく、児童青少年センターの他にも、身近な地域で利用が可能な中高生の居場所を求める声が寄せられています。</p>			
	今後の予測	<p>核家族化の進展や地域社会のつながりの希薄化、都市化による遊閑地や遊び場の減少などの社会状況の変化を背景に、子どもたちが安全・安心に過ごし、交流できる居場所づくりがこれまでに必要になると予測されます。</p>			
評価と課題	<p>児童館は、児童の健全育成支援・子育て支援の地域の拠点として機能・役割を果たしていますが、学童クラブ需要増や乳幼児親子の利用増など児童館の利用形態の大きな変化とともに、子どもの育ちと子育てをめぐる課題に的確に対応し、児童の発達段階に応じた健全育成支援の充実を図っていくため、児童館施設という枠組みに囚われない事業展開を構築していきます。</p>				
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)		
今後の進め方	<p>区立施設再編整備計画に基づき、乳幼児親子の子育て支援機能を中心とした子ども・子育てプラザや小学校内での放課後等居場所事業等の取組を着実に推進していきます。</p>				

平成28年度杉並区事務事業評価表（1）

（00273）

事務事業名称		子ども国内交流事業			款	04	項	02	目	01	事業	037	整理番号	280	
現担当課名		児童青少年課			係名	事業係			連絡先電話番号	4402		昨年度整理番号	282		
上位施策No・施策名										24 子ども・青少年の育成支援の充実		予算事業区分	既定事業		
事務事業の概要	事業開始	平成 2年度													
	平成27年度担当課名	児童青少年課										事業評価区分	一般		
	対象	区内在住の小学生（4～6年生）			根拠法令等	(1)		杉並区立児童青少年センター及び児童館事業運営要綱							
					根拠法令等	(2)		杉並区都市交流実施要綱							
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	子ども同士の交流を通して、友好都市の文化、生活、風土等の理解を深めることにより、児童の健全育成を図る。			活動指標	指標名（1）		交流自治体数							
				指標説明	指標名（2）										
				指標説明	指標名（2）										
活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	名寄市との交流会 東吾妻町との交流会			成果指標	指標名（1）		参加者数								
				指標説明	指標名（2）										
				指標説明	指標名（2）										
区分		単位	平成25年度	平成26年度		平成27年度		平成28年度	平成27年度						
			実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)						
指標	活動指標（1）	1	自治体	2	2	2	2	2	100.0						
	活動指標（2）	2													
	成果指標（1）	3	人	50	50	50	50	50	100.0						
	成果指標（2）	4													
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	5,498	5,742	5,691	6,870	6,797	6,404	平成27年度 予算執行率(%)	98.9				
	(内) 投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 交流事業の実施回数の変更により事業費が増加しています。					
	(内) 委託費	7	千円	0	0	0	0	0	0						
	職員数	常勤職員数	8	人	1.10	1.00	1.00	1.00	1.10						1.00
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						0.00
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						0.00
	人件費	常勤職員分	11	千円	9,493	8,810	8,810	8,810	9,622						8,747
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0						0
		非常勤職員分	13	千円	0	0	0	0	0						0
	総事業費 (5+11+12+13)	14	千円	14,991	14,552	14,501	15,680	16,419	15,151						
	単位当たりコスト (14-6)÷1	15	円	7,495,500	7,276,000	7,250,500	7,840,000	8,209,500	7,575,500						
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0						0
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0						0
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0						0
その他の補助金等		19	千円	2,104	2,677	2,762	3,241	2,880	3,025						
特定財源計 (16+17+18+19)		20	千円	2,104	2,677	2,762	3,241	2,880	3,025						
差引：一般財源 (14-20)		21	千円	12,887	11,875	11,739	12,439	13,539	12,126						
受益者負担比率 (16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

平成28年度杉並区事務事業評価表（2）

		整理番号		280	
平成27年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		杉並区・名寄市子ども交流会	1	回	5,087
		杉並区・東吾妻町子ども交流会	1	回	1,710
		その他（ ）			
平成27年度の事業実施状況	(2) 事業実績	名寄市との交流会（7月名寄編：3泊4日、8月杉並編：3泊4日 25名） 東吾妻町との交流会（8月杉並編：2泊3日、東吾妻編：1泊2日 25名）			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	杉並区の交流自治体である名寄市との子ども同士の交流会は、平成5年に、名寄市（当時の風連町）の小学生を杉並区に招待するところから始まりました。子どもたちがお互いの町を訪れ交流し、友好を深めています。 また、同様に、交流自治体の東吾妻町との交流会は、平成2年から子どもたちがお互いの町を訪れ交流し、友好を深めています。 どちらの交流事業も、交通実費等の参加者の一部負担がありましたが、平成24年度からは、次世代育成基金活用事業として、参加費無料で実施しています。			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	毎年度、定員を超える参加申し込みがあり、抽選を行っていることに加え、参加費を徴収しても良いので、毎年申込できるようにしてほしい等の意見も寄せられており、両交流会への人気の高さが伺えます。 また、参加した児童からは、「楽しかった」「友達が出来た」「来年も参加したい」「農業体験できてよかった」などの好評価を受けています。			
	今後の予測	事業の認知度の高まりとともに、毎年、定員を大きく超える応募がありますが、今後もそうした傾向は続くことが予想されます。参加人数や事業内容の一層の充実を進めていく必要があります。			
評価と課題		子どもたちが生活を共にしながら、日常生活とは異なる文化や生活様式を体験することは、社会に対して広い視野を持つうえで大きな効果があります。 また、双方の自治体にとっても、子ども同士の交流は、将来にわたっての自治体交流の礎になるものと期待されます。 一方で、安全面の確保や経費上の制約等から、参加人数に制限があることから、可能な限り多くの児童の希望に応えられるプログラムの工夫が課題です。			
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
	今後の進め方	今後は、より多くの子どもたちの交流事業参加を目指し、プログラム内容を工夫するなど、参加人数の拡大や参加した子どもたちにとって更に意義のある事業となるように、交流先の自治体担当者との検討・協議等を進めていきます。			

平成28年度杉並区事務事業評価表（1）

（00282）

事務事業名称		次世代育成基金の運営				款	04	項	02	目	01	事業	050	整理番号	289						
現担当課名		児童青少年課		係名		青少年係		連絡先電話番号		4402		昨年度整理番号		291							
上位施策No・施策名											24 子ども・青少年の育成支援の充実		予算事業区分		既定事業						
事業開始		平成24年度		実行計画事業		目標		05		施策		24		計画事業		01		主要事業（区政経営報告書掲載事業）			
平成27年度担当課名		児童青少年課										事業評価区分		一般							
対象		区内の小・中学生、支援する大人				根拠法令等		(1)		杉並区次世代育成基金条例		(2)		杉並区次世代育成基金推進会議設置要綱							
事務事業の概要		事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）				活動指標		指標名（1）		基金活用事業件数		指標説明		基金活用事業参加者募集（定員）数							
		子どもたちの健やかな育成を支援するため、国内外の自然・文化・芸術の体験やスポーツ交流の機会を創出するための取り組みに基金を活用する。基金を永続的に健全な運営するため、基金の趣旨を多くの区民に伝え、理解・賛同を得て寄附を募り、地域社会全体で子どもの成長を支える気運を醸成する。				指標名（2）															
		活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）				成果指標		指標名（1）		基金活用事業参加児童・生徒数		指標説明		派遣型事業は参加実人数、講座型事業は参加延べ人数							
		区内の小・中学生を対象とした国内外の交流都市・自治体との交流事業や自然体験事業の実施に対し子どもの参加に係る経費の2分の1を基金から充当する。基金の趣旨を広く区民に周知し賛同を得て、寄附を募っていく。				指標名（2）				寄附者件数		指標説明									
区分		単位		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成27年度									
				実績		計画		計画 （目標値）		実績		計画		対計画比（%）							
指標		活動指標（1）		1 件		5 6		6 8		8 8		10		100.0							
		活動指標（2）		2 人		148 165		190 250		275 300		110.0									
		成果指標（1）		3 人		148 165		207 250		256 500		102.4									
		成果指標（2）		4 件		221 1,000		419 1,000		730 1,000		73.0									
総事業費・コスト把握		事業費		5 千円		34,002 19,103		19,064 30,271		27,644 21,381		平成27年度 予算執行率（%）		91.3							
		（内）投資的経費等		6 千円		0 0		0 0		0 0		0 0		特記事項		27年度から民間提案事業助成を実施したことにより事業費が増加しています。					
		（内）委託費		7 千円		6 10		10 300		218 290											
		職員数		常勤職員数		8 人		1.31 0.50		1.45 0.50		1.20 0.50									
				再任用職員数		9 人		0.00 1.00		1.00 1.00		1.00 1.00									
				非常勤職員数		10 人		0.00 0.00		0.00 0.00		0.60 0.60									
		人件費		常勤職員分		11 千円		11,305 4,405		12,775 4,405		10,496 4,374									
				再任用職員分		12 千円		0 4,050		4,050 4,050		4,139 4,139									
				非常勤職員分		13 千円		0 0		0 0		1,761 1,761									
		総事業費		14 千円		45,307 27,558		35,889 38,726		44,040 31,655											
		単位当たりコスト		15 円		9,061,400 4,593,000		5,981,500 4,840,750		5,505,000 3,165,500											
		財源		受益者負担分		16 千円		0 0		0 0		0 0									
				国からの補助金等		17 千円		0 0		0 0		0 0									
				都からの補助金等		18 千円		0 0		0 0		0 0									
その他の補助金等				19 千円		30,642 10,229		10,867 10,167		19,205 10,131											
特定財源計				20 千円		30,642 10,229		10,867 10,167		19,205 10,131											
差引：一般財源				21 千円		14,665 17,329		25,022 28,559		24,835 21,524											
受益者負担比率		22 %		0.0 0.0		0.0 0.0		0.0 0.0													

平成28年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	289	
平成27年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費（千円）
		基金の積立	1	回	21,639	
		基金活用事業助成金	1	件	4,542	
		平成26年度次世代育成基金活用事業実施報告書	1,500	部	190	
		郵便振替用紙付き応援寄附募集リーフレット	30,000	部	389	
		その他（PRグッズの制作費、寄附者あて郵送料）			884	
	(2) 事業実績	<p>基金活用事業として、小学生を対象とした「国内子ども交流会」ほか2事業、中学生を対象とした「海外留学」ほか3事業を実施したほか、民間事業者による提案・実施事業「だれでも農村体験」に対して事業助成金を支出しました。 また、基金への応援寄附は、延べ730件 19,009,210円でした。</p>				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>平成24年度に、子どもたちの夢を育むことを目的に、ふるさと寄附の取り扱いとして基金を開設しました。開設初年度から地域の団体や事業者の会合における周知啓蒙及び郵便振替用紙付き応援寄附募集チラシの配布により、年々寄附件数は増加しています。基金活用事業も平成27年度からは、民間からの提案事業に補助金を交付する基金活用事業助成制度を開始し、新たな分野の体験交流事業への子どもの参加を促進しました。</p>				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>基金の永続的に安定した運営を確保するために、活用事業の充実が求められています。また、寄附者からは、国際社会における子どもたちの活躍を期待する声が寄せられています。</p>				
	今後の予測	<p>現在、国内外の異なる地域に出向く「派遣型」体験交流事業が中心となっている基金活用事業に加え、講演会の受講やワークショップなどを通して体験する「講座型」の事業の実施が求められてくるのが想定されます。また、オリンピック・パラリンピックを迎え、国際的人材を育成する機会が求められています。</p>				
	評価と課題	<p>民間事業者の提案による体験・交流事業に対し、基金を活用する助成制度を開始したことで、新たな分野の体験・交流事業を展開することができました。 今後、子どもたちが、夢を抱き、健やかに育つように、様々な交流体験事業を推進していきます。</p>				
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持			
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）			
	今後の進め方	<p>今後も基金が多くのご賛同を得られるようPRに努めるとともに、民間提案による助成金活用事業等を通して新たな分野での基金活用を進めていきます。</p>				

平成28年度杉並区事務事業評価表（1）

（00686）

事務事業名称 (仮称) 子どもプレーパーク事業				款 04	項 02	目 01	事業 063	整理番号 299		
現担当課名 児童青少年課		係名 管理係		連絡先電話番号 4402		昨年度整理番号				
上位施策No・施策名 24 子ども・青少年の育成支援の充実						予算事業区分 新規事業				
事務事業の概要	事業開始	平成27年度	実行計画事業	目標 05	施策 24	計画事業 05	主要事業（区政経営報告書掲載事業）			
	平成27年度担当課名	児童青少年課					事業評価区分 一般			
	対象	児童		根拠法令等	(1)	杉並区協働提案制度実施要綱				
					(2)					
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	火遊びや水遊び、木工など、屋外での自由な遊びで得られる様々な体験・交流を通じて、子どもたちの自主性や社会性を育成する。			活動指標	指標名(1)	プレーパーク実施回数			
				指標説明	指標名(2)					
				指標説明	指標名(2)					
活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	区内公園を活用したプレーパークの運営、プレーパークを実施している地域団体等への運営支援・連携、児童館との連携による出前プレーパークの実施など			成果指標	指標名(1)	プレーパーク参加者数				
				指標説明	指標名(2)					
				指標説明	指標名(2)					
区分	単位	平成25年度	平成26年度		平成27年度		平成28年度	平成27年度		
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)		
指標	活動指標(1)	1	回			40	37	60	92.5	
	活動指標(2)	2								
	成果指標(1)	3	人			5,000	4,239	7,000	84.8	
	成果指標(2)	4								
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円			6,000	4,746	5,625	平成27年度 予算執行率(%) 79.1	
	(内) 投資的経費等	6	千円			0	0	0	特記事項 協働提案事業実施に係る区負担額が予定額より下がったため、執行率が90%を下回っています。	
	(内) 委託費	7	千円			0	0	0		
	職員数	常勤職員数	8	人			0.20	0.20		0.20
		再任用職員数	9	人			0.00	0.00		0.00
		非常勤職員数	10	人			0.00	0.00		0.00
	人件費	常勤職員分	11	千円			1,762	1,749		1,749
		再任用職員分	12	千円			0	0		0
		非常勤職員分	13	千円			0	0		0
	総事業費 (5+11+12+13)	14	千円			7,762	6,495	7,374		
	単位当たりコスト (14-6)÷1	15	円			194,050	175,541	122,900		
	財源	受益者負担分	16	千円			0	0		0
		国からの補助金等	17	千円			0	0		0
		都からの補助金等	18	千円			0	2,372		0
その他の補助金等		19	千円			0	0	0		
特定財源計 (16+17+18+19)		20	千円			0	2,372	0		
差引：一般財源 (14-20)		21	千円			7,762	4,123	7,374		
受益者負担比率 (16÷14)	22	%			0.0	0.0	0.0			

平成28年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	299
		内 容	規模	単位	事業費（千円）
平成27年度の事業実施状況	(1) 主な取組	協働提案事業「子どもプレーパーク事業」分担金の支出	1	団体	4,289
	(2) 事業実績	<p>NPO法人との協働提案事業として「子どもプレーパーク事業」を実施し、区立公園を会場としたプレーパーク「杉並冒険遊び場 のびっばひろっぱ」の開催等を行いました。</p> <p>事業としては、柏の宮公園 24回（延べ2,656人参加）、井草森公園 8回（延べ1,583人参加）、また、その他の活動として、児童館等への出前プレーパークの実施 5回、他のプレーパーク実施団体の運営支援 4回、プレーリーダー養成講座 4回を実施しました。</p>			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	NPO法人との協働提案事業として、平成27年7月から子どもプレーパーク事業を開始しました。			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	回数を重ねるごとに参加者は増加し、「楽しかった」、「また参加したい」といった感想が寄せられています。また、「子どもの成長に効果的であった」、「実施会場や開催日を増やして欲しい」といった意見も寄せられ、参加者からは一定の評価が得られています。			
	今後の予測	子どもの自由な発意による外遊びを身近な公園で行える本事業への需要は、今後も高まってくると想定されます。			
評価と課題		<p>屋外での自由な遊びを通して得られる体験・交流は、子どもたちの自主性や社会性などを育成するうえで大きな効果があります。また、プレーパークが保護者や地域住民の交流の場として一定の役割を果たしています。</p> <p>一方、プレーパークは火遊びや水遊びなど、通常の公園利用とは異なる自由な遊びを行っていることから、一般利用者への配慮が課題です。また、将来に向けて、協働事業者の自主運営の手法について検討していきます。</p>			
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
	今後の進め方	平成28年度の実施に向けて、協働事業者からの提案について検討するとともに、将来的な運営方法について協議を進めます。			

平成28年度杉並区事務事業評価表(1)

(00292)

事務事業名称 児童青少年センター・児童館の維持管理			款 04	項 02	目 02	事業 002	整理番号 301			
現担当課名 児童青少年課		係名 管理係	連絡先電話番号 4402			昨年度整理番号 306				
上位施策No・施策名 24 子ども・青少年の育成支援の充実						予算事業区分 既定事業				
事務事業の概要	事業開始	昭和41年度								
	平成27年度担当課名	児童青少年課				事業評価区分 施設維持管理				
	対象	児童青少年センター、児童館、学童クラブの各施設		根拠法令等 (1) (2)	児童福祉法第35、45条 杉並区立児童青少年センター及び児童館条例、同施行規則					
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	施設の実情にあわせた修繕や設備等の整備を適切に行い、安全・安心で快適に利用できる施設を維持することで、児童の健全育成支援の充実を図る。		活動指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2)	児童館数(児童青少年センター含む) 単独学童クラブ数					
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	施設の保守点検、小規模修繕 施設の設備、維持管理物品等の購入 施設の光熱費等公共料金の支払		成果指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2) 指標説明						
区分	単位	平成25年度 実績	平成26年度 計画 実績		平成27年度 計画(目標値) 実績		平成28年度 計画	平成27年度 対計画比(%)		
指標	活動指標(1)	1 館	42	42	42	42	42	100.0		
	活動指標(2)	2 箇所	11	12	12	12	12	100.0		
	成果指標(1)	3								
	成果指標(2)	4								
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	271,326	296,817	280,436	302,869	289,079	304,702	平成27年度 予算執行率(%) 95.4	
	(内)投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項	
	(内)委託費	7 千円	153,182	171,758	158,109	175,186	168,895	179,217		
	職員数	常勤職員数	8 人	24.50	23.10	24.40	23.30	24.00	22.90	
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		非常勤職員数	10 人	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.40	
	人件費	常勤職員分	11 千円	211,435	203,511	214,964	205,273	209,928	200,306	
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0	0	
		非常勤職員分	13 千円	2,780	2,830	2,830	2,830	2,935	4,109	
	総事業費(5+11+12+13)	14 千円	485,541	503,158	498,230	510,972	501,942	509,117		
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15 円	11,560,500	11,979,952	11,862,619	12,166,000	11,951,000	12,121,833		
	財源	受益者負担分	16 千円	5,853	5,035	6,058	4,501	4,224	4,669	
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0	
		都からの補助金等	18 千円	0	0	0	0	0	0	
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計(16+17+18+19)		20 千円	5,853	5,035	6,058	4,501	4,224	4,669		
差引:一般財源(14-20)		21 千円	479,688	498,123	492,172	506,471	497,718	504,448		
受益者負担比率(16÷14)	22 %	1.2	1.0	1.2	0.9	0.8	0.9			

平成28年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	301
平成27年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		施設保守管理委託	54	施設	157,795
		施設修繕費	54	施設	38,028
		光熱水費			76,362
		その他（電話料・手数料・備品購入 ほか）			16,894
	(2) 事業実績	<p>児童館・学童クラブを安全・快適に利用できるよう、迅速かつ効率的に施設・設備の修繕を行うとともに、施設保守管理委託契約や計画的な備品類の購入等により、適切な維持管理に努めました。施設修繕にあたっては、大規模修繕や学童クラブの改修等の予定を確認し、内容や工期が重複しないよう計画的な修繕を進めました。</p>			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）				
	今後の予測				
	評価と課題	<p>児童館はそのほとんどが昭和40年～50年代に建設され、老朽化による大規模修繕の必要性が高まっています。また、乳幼児親子の利用の増加や学童クラブの需要増など、建設当初には想定していない利用状況の中で運営を行っています。今後、区立施設再編整備計画に基づき児童館施設の再編を段階的に進める一方で、老朽化が進行する現施設の延命化を図り、現在のニーズに応えていくことが課題となっています。</p>			
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性			
		II 事業の改善の方向性			
	今後の進め方				

平成28年度杉並区事務事業評価表（1）

（00655）

事務事業名称 和泉学童クラブの移転整備				款 04	項 02	目 03	事業 031	整理番号 309			
現担当課名 児童青少年課		係名 管理係		連絡先電話番号 4402		昨年度整理番号 316					
上位施策No・施策名 24 子ども・青少年の育成支援の充実						予算事業区分 投資事業					
事務事業の概要	事業開始	平成26年度	実行計画事業	目標 05	施策 24	計画事業 02	主要事業（区政経営報告書掲載事業）				
	平成27年度担当課名	児童青少年課					事業評価区分 一般				
	対象	施設管理		根拠法令等	(1)	児童福祉法第六条の三第2項					
					(2)	杉並区立児童青少年センター及び児童館条例、同施行規則					
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	学童クラブの入会需要の増加に対応するとともに、行き帰りの安全を確保するため、杉並和泉学園の敷地内に学童クラブを整備する。			活動指標	指標名(1)	学童クラブ移転整備				
					指標説明						
					指標名(2)						
					指標説明						
活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	杉並和泉学園校舎に和泉学童クラブ移転のスペースを確保し、定員増を図ったうえで和泉学園学童クラブとして運営する。			成果指標	指標名(1)	学童クラブ移転整備による定員の増					
					指標説明						
					指標名(2)						
					指標説明						
区分	単位	平成25年度	平成26年度		平成27年度		平成28年度	平成27年度			
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)			
指標	活動指標(1)	1	施設		1	0	1	1	0	100.0	
	活動指標(2)	2									
	成果指標(1)	3	人		26	0	26	26	0	100.0	
	成果指標(2)	4									
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円		12,111	11,880	155,293	152,560	0	平成27年度 予算執行率(%) 98.2	
	(内)投資的経費等	6	千円		12,111	11,880	155,293	152,560	0	特記事項 平成27年度は学童クラブ別棟建設工事のため経費が増となっています。	
	(内)委託費	7	千円		12,111	11,880	153,593	150,868	0		
	職員数	常勤職員数	8	人		0.00	0.10	0.10	0.10		0.10
		再任用職員数	9	人		0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
		非常勤職員数	10	人		0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
	人件費	常勤職員分	11	千円		0	881	881	875		875
		再任用職員分	12	千円		0	0	0	0		0
		非常勤職員分	13	千円		0	0	0	0		0
	総事業費 (5+11+12+13)	14	千円		12,111	12,761	156,174	153,435	875		
	単位当たりコスト (14-6)÷1	15	円		0	0	881,000	875,000	0		
	財源	受益者負担分	16	千円		0	0	0	0		0
		国からの補助金等	17	千円		0	0	0	0		0
		都からの補助金等	18	千円		0	0	0	0		0
その他の補助金等		19	千円		0	0	0	0	0		
特定財源計 (16+17+18+19)		20	千円		0	0	0	0	0		
差引：一般財源 (14-20)		21	千円		12,111	12,761	156,174	153,435	875		
受益者負担比率 (16÷14)	22	%		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

平成28年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	309	
平成27年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費（千円）
		和泉学童クラブの移転整備に係る施設整備		1	所	149,564
		初度調弁				1,692
		工事監理				1,145
		その他（適合判定手数料）				159
(2) 事業実績	和泉学童クラブの和泉学園学童クラブとの統合のため、杉並和泉学園内に学童クラブ別棟を整備し、既設の和泉学園学童クラブと和泉学童クラブを統合しました。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	学童クラブの需要は年々増加傾向にあります。学童クラブの登録児童数はこの10年間で約1.5倍（平成17年=2,569人、平成27年=3,813人）になりました。また、平成27年度には児童福祉法が改正され、学童クラブの対象児童の全学年への拡大（改正前は概ね10歳未満の児童）も実施されました。				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	就労等で保護者が昼間留守になる家庭から、児童の安全・安心な居場所である学童クラブの定員確保が求められています。				
	今後の予測	核家族化や女性の社会進出の増加により、今後も学童クラブへの需要は増加していくものと予想されます。				
	評価と課題	和泉学童クラブを和泉学園学童クラブと統合するため、杉並和泉学園内に学童クラブ別棟を整備し、定員を拡大して平成28年4月より運営を開始します。				
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	縮小			
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）・実施主体の見直し・対象の見直し			
今後の進め方	和泉学童クラブと和泉学園学童クラブの統合により、本事業は終了となります。今後は統合後の学童クラブ運営をより良いものとするための取組を継続していきます。					

平成28年度杉並区事務事業評価表（１）

（ 00305 ）

事務事業名称		学童クラブの整備				款	04	項	02	目	03	事業	037	整理番号	312		
現担当課名		児童青少年課		係名		管理係		連絡先電話番号		4402		昨年度整理番号		319			
上位施策No・施策名										24 子ども・青少年の育成支援の充実		予算事業区分				投資事業	
事務事業の概要	事業開始		平成24年度		実行計画事業		目標 05		施策 24		計画事業 02		主要事業（区政経営報告書掲載事業）				
	平成27年度担当課名		児童青少年課		事業評価区分								一般				
	対象		施設管理				根拠法令等		(1)		児童福祉法第六条の三第 2 項						
									(2)		杉並区立児童青少年センター及び児童館条例、同施行規則						
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）		学童クラブの需要増に的確に対応するため、児童館の一部諸室を育成室等へ転用し、学童クラブ受入れ枠拡大を図る。				活動指標		指標名（ 1 ）		改修実施児童館（クラブ）数						
								指標説明									
								指標名（ 2 ）									
								指標説明									
活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）		児童館の一部諸室を育成室等へ転用する改修を行う。				成果指標		指標名（ 1 ）		児童館（クラブ）改修による受入れ枠の拡大数							
								指標説明									
								指標名（ 2 ）									
								指標説明									
区分		単位	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成27年度						
			実績		計画		計画 （目標値）		実績		計画		対計画比（%）				
指標	活動指標（ 1 ）		1	施設	3	6	7	0	3	0	0.0						
	活動指標（ 2 ）		2														
	成果指標（ 1 ）		3	人	84	157	185	72	72	0	100.0						
	成果指標（ 2 ）		4														
総事業費・コスト把握	事業費		5	千円	32,809	97,899	96,574	67,373	64,243	0	平成27年度 予算執行率（%）		95.4				
	（内）投資的経費等		6	千円	32,809	97,899	97,899	67,373	64,243	0	特記事項						
	（内）委託費		7	千円	32,809	97,899	96,574	65,236	62,106	0							
	職員数	常勤職員数		8	人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10						
		再任用職員数		9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
		非常勤職員数		10	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
	人件費	常勤職員分		11	千円	863	881	881	881	875	875						
		再任用職員分		12	千円	0	0	0	0	0	0						
		非常勤職員分		13	千円	0	0	0	0	0	0						
	総事業費 (5+11+12+13)		14	千円	33,672	98,780	97,455	68,254	65,118	875							
	単位当たりコスト (14-6)÷1		15	円	287,667	146,833	63,429	0	291,667	0							
	財源	受益者負担分		16	千円	0	0	0	0	0	0						
		国からの補助金等		17	千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等		18	千円	0	0	0	0	0	0						
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0								
特定財源計 (16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	0	0	0								
差引：一般財源 (14-20)		21	千円	33,672	98,780	97,455	68,254	65,118	875								
受益者負担比率 (16÷14)		22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

平成28年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	312	
平成27年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費（千円）
		学童クラブ受入枠拡大のための改修（堀ノ内南、善福寺、東田）		3	施設	63,041
		学童クラブ受入枠拡大に伴う什器等整備				1,202
		その他（ ）				
	(2) 事業実績	学童クラブの需要増に対応するため、児童館の一部諸室及び小学校教室を改修して育成室等に転用し、受入枠の拡大を図りました。				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	学童クラブの需要は年々増加傾向にあります。学童クラブの登録児童数はこの10年間で約1.5倍（平成17年=2,569人、平成27年=3,813人）になりました。また、平成27年度には児童福祉法が改正され、学童クラブの対象児童の全学年への拡大（改正前は概ね10歳未満の児童）も実施されました。				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	就労等で保護者が昼間留守になる家庭から、児童の安全・安心な居場所である学童クラブの定員確保が求められています。				
	今後の予測	核家族化や女性の社会進出の増加により、今後も学童クラブへの需要は増加していくものと予想されます。				
	評価と課題	既設の学童クラブの改修による受入枠の拡大に取り組むことにより、増加する学童クラブの需要に対応しました。今後、更に増加が見込まれる需要への対応が課題です。				
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	拡充			
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）			
	今後の進め方	学童クラブの学校内への移設を基本としながら、適切な需要見込みに基づく計画的な施設整備を図ります。				

平成28年度杉並区事務事業評価表（1）

（00687）

事務事業名称 桃井第二小学校学童クラブの整備				款 04	項 02	目 03	事業 043	整理番号 316		
現担当課名 児童青少年課		係名 管理係		連絡先電話番号 4402		昨年度整理番号				
上位施策No・施策名 24 子ども・青少年の育成支援の充実						予算事業区分 投資事業				
事務事業の概要	事業開始	平成27年度				主要事業（区政経営報告書掲載事業）				
	平成27年度担当課名	児童青少年課				事業評価区分 一般				
	対象	施設管理		根拠法令等	(1)	児童福祉法第六条の三第二項				
					(2)	杉並区児童青少年センター及び児童館条例、同施行規則				
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	学童クラブの入会需要の増加に対応するとともに、行き帰りの安全を確保するため、桃井第二小学校の校舎内に学童クラブを整備する。		活動指標	指標名（1）	学童クラブ移転整備				
				指標説明						
				指標名（2）						
				指標説明						
活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	荻窪北学童クラブの移転スペースを桃井第二小学校内に確保し、育成環境の充実と増加する需要への対応を図る。		成果指標	指標名（1）						
				指標説明						
				指標名（2）						
				指標説明						
区分	単位	平成25年度	平成26年度		平成27年度		平成28年度	平成27年度		
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)		
指標	活動指標（1）	1			1	0	1	0.0		
	活動指標（2）	2								
	成果指標（1）	3								
	成果指標（2）	4								
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円			1,600	1,273	5,700	平成27年度 予算執行率(%) 79.6 特記事項 設計委託の入札を行った結果、執行率が90%を下回りました。	
	(内) 投資的経費等	6	千円			1,600	1,273	5,700		
	(内) 委託費	7	千円			1,600	1,273	5,700		
	職員数	常勤職員数	8	人			0.10	0.10		0.10
		再任用職員数	9	人			0.00	0.00		0.00
		非常勤職員数	10	人			0.00	0.00		0.00
	人件費	常勤職員分	11	千円			881	875		875
		再任用職員分	12	千円			0	0		0
		非常勤職員分	13	千円			0	0		0
	総事業費 (5+11+12+13)	14	千円			2,481	2,148	6,575		
	単位当たりコスト (14÷6)÷1)	15	円			881,000	0	875,000		
	財源	受益者負担分	16	千円			0	0		0
		国からの補助金等	17	千円			0	0		0
		都からの補助金等	18	千円			0	0		0
その他の補助金等		19	千円			0	0	0		
特定財源計 (16+17+18+19)		20	千円			0	0	0		
差引：一般財源 (14-20)		21	千円			2,481	2,148	6,575		
受益者負担比率 (16÷14)	22	%			0.0	0.0	0.0			

平成28年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	316
平成27年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内容	規模	単位	事業費(千円)
		学童クラブ移転整備にかかる施設設計(基本設計)	1	所	1,273
(2) 事業実績	その他()				
	桃井第二小学校内に荻窪北学童クラブの移転スペースを確保するための施設設計(基本設計)を行いました。				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	学童クラブの需要は年々増加傾向にあります。学童クラブの登録児童数はこの10年間で約1.5倍(平成17年=2,569人、平成27年=3,813人)になりました。また、平成27年度には児童福祉法が改正され、学童クラブの対象児童の全学年への拡大(改正前は概ね10歳未満の児童)も実施されました。			
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	就労等で保護者が昼間留守になる家庭から、児童の安全・安心な居場所である学童クラブの定員確保が求められています。			
	今後の予測	核家族化や女性の社会進出の増加により、今後も学童クラブへの需要は増加していくものと予想されます。			
評価と課題		桃井第二小学校改築の基本設計に合わせて校舎内への学童クラブ整備の基本設計を進め、十分な育成面積の確保を図ることができました。引き続き円滑な運営が確保できるよう、具体的な施設設計に取り組みます。			
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	拡充		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)・実施主体の見直し		
今後の進め方		平成31年4月開所に向け、引き続き整備を行っていきます。			

平成28年度杉並区事務事業評価表（1）

（00688）

事務事業名称 高円寺地域小中一貫教育校学童クラブの整備				款 04	項 02	目 03	事業 044	整理番号 317		
現担当課名 児童青少年課		係名 管理係		連絡先電話番号 4402			昨年度整理番号			
上位施策No・施策名 24 子ども・青少年の育成支援の充実						予算事業区分 投資事業				
事務事業の概要	事業開始	平成27年度		主要事業（区政経営報告書掲載事業）						
	平成27年度担当課名	児童青少年課		事業評価区分 一般						
	対象	施設管理		根拠法令等 (1) (2)	児童福祉法第六条の三第二項 杉並区児童青少年センター及び児童館条例、同施行規則					
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	学童クラブの入会需要の増加に対応するとともに、行き帰りの安全を確保するため、高円寺地域小中一貫教育校の校舎内に学童クラブを整備する。		活動指標 指標名（1） 指標説明 指標名（2） 指標説明	学童クラブ移転整備					
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	高円寺北、高円寺中央学童クラブの移転スペースを高円寺地域小中一貫教育校の校舎内に確保し、育成環境の充実と増加する需要への対応を図る。		成果指標 指標名（1） 指標説明 指標名（2） 指標説明						
区分	単位	平成25年度	平成26年度		平成27年度		平成28年度	平成27年度		
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)		
指標	活動指標（1）	1			1	0	1	0.0		
	活動指標（2）	2								
	成果指標（1）	3								
	成果指標（2）	4								
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円			3,396	2,793	3,024	平成27年度 予算執行率(%) 82.2 特記事項 設計委託の入札を行った結果、執行率が90%を下回りました。	
	（内）投資的経費等	6	千円			3,396	2,793	3,024		
	（内）委託費	7	千円			3,396	2,793	3,024		
	職員数	常勤職員数	8	人			0.10	0.10		0.10
		再任用職員数	9	人			0.00	0.00		0.00
		非常勤職員数	10	人			0.00	0.00		0.00
	人件費	常勤職員分	11	千円			881	875		875
		再任用職員分	12	千円			0	0		0
		非常勤職員分	13	千円			0	0		0
	総事業費 (5+11+12+13)	14	千円			4,277	3,668	3,899		
	単位当たりコスト (14-6)÷1	15	円			881,000	0	875,000		
	財源	受益者負担分	16	千円			0	0		0
		国からの補助金等	17	千円			0	0		0
		都からの補助金等	18	千円			0	0		0
その他の補助金等		19	千円			0	0	0		
特定財源計 (16+17+18+19)		20	千円			0	0	0		
差引：一般財源 (14-20)		21	千円			4,277	3,668	3,899		
受益者負担比率 (16÷14)	22	%			0.0	0.0	0.0			

平成28年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	317	
平成27年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費（千円）
		学童クラブ移転整備にかかる施設設計（基本設計）		1	所	1,503
		学童クラブ移転整備にかかる施設設計（実施設計）		1	所	1,290
		その他（ ）				
	(2) 事業実績	高円寺地域小中一貫教育校内に高円寺北、高円寺中央学童クラブの移転スペースを確保するための施設設計（基本設計）を行うとともに、具体的な施設設計（実施設計）にも着手しました。				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	学童クラブの需要は年々増加傾向にあります。学童クラブの登録児童数はこの10年間で約1.5倍（平成17年=2,569人、平成27年=3,813人）になりました。また、平成27年度には児童福祉法が改正され、学童クラブの対象児童の全学年への拡大（改正前は概ね10歳未満の児童）も実施されました。				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	就労等で保護者が昼間留守になる家庭から、児童の安全・安心な居場所である学童クラブの定員確保が求められています。				
	今後の予測	核家族化や女性の社会進出の増加により、今後も学童クラブへの需要は増加していくものと予想されます。				
	評価と課題	高円寺地区小中一貫教育校改築の基本設計に合わせて校舎内への学童クラブ整備の基本設計を進め、十分な育成面積の確保を図るとともに、具体的な施設設計である実施設計に着手しました。引き続き円滑な運営が確保できるよう実施設計に取り組み、育成環境の充実と増加する需要増への対応をしていきます。				
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	拡充			
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）・実施主体の見直し			
	今後の進め方	平成31年4月開所に向け、引き続き整備を行っていきます。				